

未筆ながら、貴重な標本を恵与され採集時の状況を詳細に教示された小泉享詳氏（東京都）に厚くお礼申しあげる。

引用文献

黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編著, 1985. 原色日本甲虫図鑑 III. 保育社, 大阪.

坂水健祐, 1971. 11月に成虫となった甲虫2種. 昆虫と自然, 6(2): 28.

(芳賀 馨 330-0841 さいたま市大宮区東町
1-16-1-804)

【短報】加計呂麻島のゴミムシダマシ4種

加計呂麻島は、奄美群島内の島で、大島海峡をはさんで奄美大島南部と向き合う。行政区分は鹿児島県大島郡瀬戸内町に属する。奄美大島にあまりに近いこともあって、この島に採集に訪れる人は少なく、昆虫の記録も非常に少ない。今回、この島で採集・調査を行われた青木淳一博士より、ゴミムシダマシ科甲虫の提供を受けたので記録しておきたい。いずれもおそらく同島未記録であると思われる。貴重な標本を提供していただいた青木博士に感謝する。採集者はすべて青木博士、標本は筆者らが保管している。

オオツボキノコゴミムシダマシ *Platydema ootsuboi*
Akita et Masumoto

2♀♀, 実久, 13. X. 2011.

ベニモンキノコゴミムシダマシ *Platydema subfascia*
(Walker)

1♂, 2♀♀, 嘉入ノ滝道, 13. X. 2011; 1♂, 生間,
13~14. X. 2011.

ムラサキツヤニジゴミムシダマシ *Tetraphyllus latior*
(Nakane)

1♀, 生間, 13~14. X. 2011.

アマミユミアシゴミムシダマシ *Prometis oshimana*
(Miwa)

2♀♀, 生間, 13~14. X. 2011.

(秋田勝己 514-1108 津市久居射場町66, D-304)

(益本仁雄 130-0014 墨田区亀沢3-14-3-1001)

【短報】旭川でも採集されていたアオハナカミキリ

アオハナカミキリ *Lepturobosca virens* (Linnaeus, 1758) は、旧北区北部に広く生息が知られており、樺太、千島列島にも分布している。わが国では、草間 (1973) によると 1943 年の北海道札幌市円山における記録が最初のものであり、日本鞘翅目学会 (1984) によると他に農業技術研究所 (現・独立行政法人農業環境技術研究所) に札幌のラベルの付いた標本があるとのことである。本種に関してはその他の記録はみられず、草間 (1973) は移入種の可能性があるとし、大林・新里 (2007) も、偶産種・疑問種として扱い、わが国における分布に対し疑問を呈している。一方、林・森本・木元 (1984) には分布地に北海道が記されており、特に注釈はない。また、本種に関する欧州の資料の中には、分布地として日本を含めているものも見られる。

筆者は、東京都世田谷区にある学校法人成城学園が所有する標本の中に、旭川のラベルのついた本種を確認したので以下に報告する。

1ex., 北海道旭川, 20. VI. 1940, 成城学園保管。

残念ながら採取者名や採集の状況に関する情報は残されていないが、上記のように札幌以外での記録はなく、旭川で採集された標本は貴重な記録であると言える。

未筆ながら、成城学園が所有する標本を検する機会を与えていただいた、成城学園生物部 OB で蝶類研究家の木村正三氏、貴重な記録の発表について承諾をいただいた成城学園中学校高等学校理科担当の中村雅浩氏、標本を検するにあたり種々ご配慮いただいた成城学園生物部の和田直大氏、前田篤人氏、北海道のカミキリムシに関してご教示



図1-2. 成城学園保管のアオハナカミキリ。1, 背面図; 2, 採集ラベル。